

【岡山県井原市】美星町がアジア初「星空保護区（コミュニティ部門）」に認定 官民学・地域一体で井原市の魅力を発信 市民参加型地方創生プロジェクトが本格始動

岡山県井原市美星町は、2021年11月1日付（米国アリゾナ州現地時間）にアジア初となる「星空保護区（コミュニティ部門）」に認定されました。



井原市HP | <http://www.city.ibara.okayama.jp/docs/2021110100020/>

美星町では30年以上前に日本初となる「光害防止条例」を制定。2019年からは、美星町観光協会と井原市が連携し、「星守プロジェクト」と題し、町内の屋外照明環境の整備や住民への啓発など、地域一丸となって「星が見えやすい」環境づくりに取り組んできました。

その長年に渡る活動が実を結び、この度、国際ダークスカイ協会（IDA（本部：米国））から、「星空版の世界遺産」と称される「星空保護区（コミュニティ部門）」にアジアで初めて認定されました。これは、“アジアでトップクラスの星空環境の保全に取り組んでいるまち”と認められたことになり、住民の弛まぬ努力と活動が称されたこととなります。

井原市では認定を機に、市の魅力発掘・発信を通じて、地域創生に取り組む官民学・地域一体となったシティプロモーションプロジェクトを始動いたします。今年度は「Everybody is A STAR」をコンセプトに、市内外の人に井原市及び井原の人々の魅力に触れていただけるよう、大都市圏との交流事業やSNSによる魅力発信、イベントなど様々な施策を行います。本事業を通じてシビックプライドの醸成をはじめ、関係人口創出、地域活性化を目指してまいります。



星空保護区とは

国際ダークスカイ協会(IDA)※1が、光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存する優れた取組を行っている地域を「International Dark Sky Places（和名：星空保護区）」として認定しています。

認定には、屋外照明に関する厳格な基準のクリア、暗い夜空を保護する地域の取組、人々がその夜空を体験できる環境整備などが求められます。

現在、星空保護区には5つのカテゴリーがあります（加えて、新規申請受付を終了したカテゴリーが1つあります）。IDAが認定した数は、2021年11月1日現在で21ヵ国187箇所。美星町が認定されたカテゴリーは市や町といった自治体単位が認定対象の「ダークスカイ・コミュニティ」で、世界では36箇所（美星町含む）が認定されています。

日本では美星町のほか、自然公園・森林公園・エコパーク等として運営されている場所が認定対象の「ダークスカイ・パーク」に、沖縄県の西表石垣国立公園と東京都神津島村が認定されています。

※1 世界の天文学者、環境学者らを中心に光害問題に取り組む世界最大規模のNPO 団体。1988年に設立され、米国アリゾナ州にある本部と、世界18ヵ国に64支部を有する。

井原市シティプロモーションプロジェクト概要

1万人のラブ☆レタープロジェクト（一般募集）

井原市在住者や出身者、天文ファンなど井原に関係するあらゆる方たちから、井原市への想いや愛着をラブレター形式で募集します。「井原の好きなところ・素敵なおとこ」をしたためていただき、投稿していただく参加型キャンペーンとして実施します。

市内外の老若男女すべてのひとが参加できるよう、オンラインでのハッシュタグキャンペーンのほか、市内各所に設けられた特設ポストに投函する手紙形式で開催をいたします。

■応募期間：2021年11月1日(月)～2022年2月28日(月)
※特設ポストへの投函は11月15日(月)から可能
特設サイト：<https://ibara-everybody-is-a-star.jp>



カメラ女子によるステイケーション

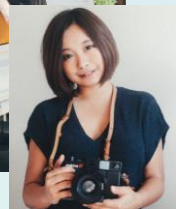
全国11,500人のカメラ女子を抱えるコミュニティサービス「カメラガールズ」とコラボし、プロデューサー田中海月さんと編集部が井原市でステイケーションを実施します。

地域住民との交流（カメラ撮影セミナー、井原の輝くひとをリレー形式で取材するIbara Starsリレーなど）を通じて、作品（井原の魅力を詰め込んだフォトブック）を制作します。

※本市で行うステイケーションは、アーティストが一定期間ある土地に滞在し、地域住民との交流を通じて作品制作などを行う「アーティスト・イン・レジデンス」の考えを用いています。参加者は地元住民との交流でここでしか得られない体験をし、住民側は改めて地元の魅力を考える機会を得ることができます。

■カメラガールズ

<https://www.camera-girls.net/>



星空ピクニック（一般募集）

昨年度実施し、全国から6000人以上の応募があった「星降るレストラン」の第2弾ダイニングアウト企画として実施します。日本唯一のプラネタリウムプランナーをガイドに、地域の食材で作ったピクニックセットをいただきながら、天文を学び、星空を愛でるバスツアーを開催。市内在住者40名・市外在住者40名を無料招待し、SNSを活用した情報発信を行います。

ゲストとして日本を代表するトラベルインフルエンサー「AYUMI」さんもツアーに参加します。

■開催日：2022年2月27日(日)

■AYUMIさんプロフィール

<https://oooooayumiooooo.com/aboutme/>



井原市について

岡山県の西南部、広島県との県境に位置する自然豊かなまち「井原市」。のどかで美しい自然、新鮮で豊かな食材、引き継がれる歴史と文化、そして、自然とまちを愛し、守り続けるやさしい人々がいるまち、井原です。中でも、流れ星伝説が残る美星町は、その名のとおり星空が美しく、天に願いを届ける「願いかなうまち」と呼ばれています。まちの主産業の一つ「井原デニム」は、世界の有名ブランドの製品にも使用されており、最高品質のデニムとして世界中から愛されています。

【人口】 38,965人（2021年9月30日現在）

【面積】 243.54km²

【おもな特産品】

- ・井原デニム
- ・明治ごんぼう
- ・ぶどう
- ・豚肉加工品など

◆井原市観光協会HP
<https://ibarakankou.jp/>



◆井原市紹介動画
<https://www.youtube.com/watch?v=i7W8xoTokJc>



◀井原市紹介動画はこちらからもご覧いただけます。



◀井原デニム

シャトル織機から生み出されるセルビッチデニムをはじめ、染料にこだわったものなど、現在も進化を続けており、井原市は「デニムの聖地」と呼ばれています。

明治ごんぼう▶
芳井町明治地区特有の重粘な赤土で栽培することで、肉質のやわらかさ、香りの高さ、日持ちの良いのが特徴のごぼうです。



◀ぶどう

ぶどう栽培に適した気候で、多くの品種が栽培されています。11月以降に出荷するぶどうは、「冬ぶどう」としてブランド化にも取り組んでいます。

今後の関連イベントスケジュール

11月1日 | 1万人のラブレタープロジェクト始動

11月2日 | 懸垂幕掲揚（市本庁舎、両支所計3箇所）・星空観望会（星の郷青空市）

11月12日 | 保護区認定証書授与式（ピュアリティまきび）

11月16日～23日 | とっとり・おかやま新橋館（岡山県アンテナショップ）でのPRイベント

星空保護区の取り組みに関する展示、天文関係者によるトークショー、月食ライブ中継など

12月3日 | 美星小学校特別授業(国立天文台 縣秀彦先生)・美星中学校特別授業(IDA東京支部 越智信彰代表)

12月4日～5日 | 「星空の街・あおぞらの街」全国大会



井原市長 大舌 勲

アジア初の『ダークスカイ・コミュニティ』への認定を誇りに思うとともに、長年に渡りまちの名前にふさわしい美しい星空環境の保護に取り組んでこられた住民の方々との喜びを分かち合いたいと存じます。今後も、他の模範となる地域として、美星町の美しい星空を全力で守り育て、未来に受け継いでまいることを誓います。

<報道関係者からのお問合せ先>

井原市シティプロモーション広報事務局 / 担当：佐藤、森山、大越、和田

TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-mail：contact@kartz.co.jp